

科目名称	母性看護学実習	学年学期	単位数	時間数
		3学年全期	2	90
担当教員	城内真理 平岡 ゆかり	授業に関わる 実務経験	☒ 有（助産師） ☐ 無	

【1】授業概要

女性の一生をとらして母性機能が最も発揮される周産期における対象の看護を実践する基礎的能力を養う。
また、地域で生活する健康な女性とその家族を対象に、女性の一生を通じた健康の保持・増進を目指した看護の基盤が実践できるための基礎的能力を養う。

【2】学習目標

周産期センター実習

1. 周産期の母子とその家族の特性を理解し、適応の過程を説明することができる。
2. 周産期の母子とその家族に対して、適応の過程への看護援助が提供できる。

保健所実習

1. 地域における保健活動の意義を明確にできる。
2. 地域における保健問題解決に必要な社会資源とその活用方法がわかる。

共通目標

3. 保健・医療・福祉チームとの連携・協働を理解し、その意義や看護師の役割について考えることができる。
4. 母性看護・公衆衛生活動への関心が深まり、母性看護を行う上での自己の課題を見出すことができる。
5. 看護者の倫理綱領および本校の倫理綱領に基づいた行動がとれる。

【3】第2看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
周産期センター実習	【産科外来実習】 ・1日に1～2名の妊婦を受け持ち、妊婦健康診査・保健指導を見学・実施する。 ・妊娠期実習記録にて、妊娠の経過についてアセスメントを行う。 ・実習終了時に実習指導者から助言を受ける。	臨地実習
	【分娩棟実習】 ・分娩の立ち会いは産婦の了解を得て行う。 ・産婦を受け持ち、分娩各期の看護援助を行う。 ・分娩期実習記録にて、分娩の経過についてアセスメントを行う。 ・実習終了時に実習指導者から助言を受ける。	
	【産褥病棟実習】 ・分娩後1～2日目の褥婦および新生児を受け持ち、看護援助を実施する。 ・産褥期実習記録にて対象の看護過程の展開を考える。 ・対象への看護師の指導場面に積極的に参加する。 ・実習終了時に実習指導者から助言を受ける。 ・実習最終日に反省会を行い、情報交換する。	
保健所実習	・現地オリエンテーションを受ける。 ・保健所・保健センターの事業に参加し、地域における健康問題及びその支援方法を学ぶ ・母子保健事業の実際をとらして母子保健における健康問題について理解する。 ・事業ごとにカンファレンスを持って助言を受ける。(10～20分程度) ・各事業に参加、保健事業記録を作成する。 ・実習最終日に反省会を行い、情報交換する。	

【5】評価方法

実習評価表に基づいて、実習目標の達成度、提出物、実習態度により総合的に行い、学生・教員で評価を行う。総合評価は、周産期センター実習 70%、保健所実習 30%で、換算評価とする。60 点以上を合格とする。

【6】教科書

森 恵美:系統看護学講座 専門分野 母性看護学[2] 母性看護学各論 第 14 版 医学書院 2022

【7】参考書

荒木奈緒他:ナースング・グラフィカ 母性看護技術(第 4 版) MC メディカ出版 2018

村本淳子編:周産期ナースング ヌーヴェルヒロカワ 2011

節引美代子:カラー写真で学ぶ周産期の看護技術・新生児の観察と看護技術・妊産褥婦のケア 医歯薬出版 2020

医療情報科学研究所編:病気が見える 産科(第 10 版) メディックメディア 2018

【8】受講生へのメッセージ